

2025/8/22

準備委員会メンバー共有用

なんば広場 幹事会議事メモ

日時： 2025年8月22日(金)13:00~15:00

場所： 準備委員会事務所(河原センタービル)

参加： 戎橋筋商店街 菊地氏、青木氏
なんさん通り商店会 木村氏、木本氏、菊澤氏
高島屋 井原氏、藤原氏
なんばマルイ 田中氏
南海電鉄 寺田氏、駒田氏
HBP 泉氏、岸本氏、福井(記)

1. 今週の論点

(1) 【報告】 イベントでの事故報告について(幹事南海より)

(寺田氏より資料の通り説明)

- ・8/15(金)~8/17(日)開催のドライゼロアイスキャラバンにて、側溝上に設置した木板を通行人が踏み抜いて側溝にはまる事故が発生した。
- ・事故の概要は以下のとおりである。
 - －発生日時：2025年8月15日(金)13時27分頃
 - －発生場所：なんば広場 東側
 - －発生内容：通行人が木板を踏み抜き側溝にはまりすり傷の怪我を負った。
 - －経過：木板破損により通行人が負傷し、主催者が応急対応を実施。その後、安全対策としてコーンバー設置および配線撤去を行った。
 - －原因：電源使用計画の事前確認不足と主催者による電源容量の認識不足により、直前に会場外の照明柱から配線を行ったため。
 - －本イベントでの対応：会場外照明柱の使用を中止し、大阪市および準備委員会立会のもと催事を実施した。
- ・本事故を踏まえ、今後は電源使用計画を事前に精査し、照明柱使用時の計画を申請に含めるとともに、申請後の変更時には中止を指示する確認書を取得し、開催前に現地確認を行う。
- ・怪我人から訴訟が発生した場合は、主催者側の責任となる点について、大阪市および警察と認識が一致している。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・主催者より、会場外の照明柱から配線してよいか確認はあったか。(井原氏)
- 今回のイベントは、半面利用であり、会場内(利用エリアの半面内)の照明柱から配線するよう

指示し、電気容量についても事前に伝達した認識だったが、立会時に主催者側から電気容量が足りないため、会場外の照明柱からの配線が必要と要望があった。(寺田氏)

→会場外の照明柱からの配線は、ルール通り認めないと対応すべきであった。(藤原氏)

・電気設備は大阪市の所有だが、電気使用料は準備委員会が実費精算している。(質問：青木氏、回答：岸本氏)

・木板破損の原因は、木板の設置方法にも問題があり、通行動線と同方向となるように木目が配置されており、割れやすい状態であった。(質問：藤原氏、回答：駒田氏)

→木板のみで養生したことが誤りであり、その上に養生用板を追加したり、通行人が歩けないように箱などの立体物を設置するなど対策をすべきであった。(菊地氏・藤原氏)

・今後の改善点として、広場利用の契約時には、イベント事業者ではなく、主催者(発注元)と「主催者による一方的な変更があった場合はイベント中止を指示するとする」という旨を直接確認のうえ契約を締結する。(寺田氏)

(2)【審議】予算状況と執行について(幹事南海より)

①協定期間中の執行について

(寺田氏より資料の通り説明)

・2025年度年間収支見込み：1,515,896円(8/19時点)

・2025年8月合計収支見込み：-5,516,119円(HBPへの事務局運営サポート委託費6,000,000円を含む)

・2025年8月の未確定項目は以下の通り。

－支出I：歩行者交通量調査費→まもなく確定見込み

－支出J：パラソル設置社会実験費→減額の見込みあり

・WEBサイトのトップページ改修の金額については、前回幹事会にて確認済みである。

・協定期間残額は、ほこみち期間へ繰越可能だが、大阪市より「利便増進計画とは別用途で支出するように」との指示があった。その用途については今後幹事会にて協議する。

②ほこみち期間の執行：区域②の机・椅子設置社会実験について

(寺田氏より資料の通り説明)

・区域②における机・椅子設置社会実験は9月～11月のうち1か月間実施する必要がある、現在は下記日程を予定している(現在、協議中のため変更の可能性有)。

－前期：9月22日～10月5日(2週間)

－後期：11月17日～11月30日(2週間)

・区域②において専属警備員を配置せずに検証を実施するためには、囲いにチェーンポールを使用せずプランターで代替する必要がある。このため、プランター購入等に係る費用(約50万円)の支出について審議をお願いしたい。

(岸本氏より口頭にて補足)

・警察より下記の理由でチェーンポール設置時は、専属警備員必須という見解を示されている。

ープランターは道路占用物件として、道路上の設置が位置づけられている。

ー一方、チェーンポールはその位置づけがないため、設置する場合はイベント扱いとなる。

ーイベントの場合は、専属の警備員を配置が必須となるため、チェーンポールを設置する場合は、専属の警備員を配置するのが警察の見解である。

- ・実施期間は、大阪市が当初想定していた「連続1か月の実施」ではなく、2週間と2週間に分けての分割実施の可否について協議を行っている。ほこみち提案時には、9月1か月間の実施を想定していたが、大阪市のほこみち事業者発表の遅延により準備期間が短縮され、実施期間を変更する必要があるが生じている。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

②ほこみち期間の執行：区域②の机・椅子設置社会実験について

・なぜ区域②の両端にはプランターに加えてチェーンの設置が必要なのか。(藤原氏)

→区域②の両端は自転車通行量が多く、プランターに加えチェーンの設置が必要と警察から指摘があった。(岸本氏)

→本来、自転車は走行禁止区域であるため、走行しない前提で協議を進めるべき。(木村氏)

→警察へは押し歩き率の上昇を伝達しているが、引き続き自転車対策を求められている。(岸本氏)

・プランターに加えチェーンも設置すると、利用しづらくなるのではないか。(藤原氏)

→A型看板を設置し、「ご自由に利用ください」等の案内を行う想定である。また、チェーンの設置は両端のみである。(岸本氏)

・プランターにチェーンを取り付けることは一般的ではなく、目立たない場合は歩行者が転倒する可能性があるため、視認性の高いチェーンを選定する必要がある。また、チェーンより太さのあるロープが適しているのでは。(井原氏・藤原氏)

→視認性も考慮し、購入備品を検討する。(岸本氏)

・そもそも期間限定の検証であるため、プランターはリースも検討すべきではないか。(木本氏)

→保管場所の問題もあるため、リースも含め検討してほしい。(寺田氏)

(結論)

●検討事項

・プランターについては、購入ではなく、リースの可能性を含めて検討する。

・区域②両端に設置するチェーンについては、視認性の高い資材とする。

(3) その他

(寺田氏より口頭にて説明)

①パラソル社会実験

・荒天のため8月10～12日は終日使用を見合わせたが、その後は支障なく運用され、8月末を

もって運用終了となる。

- ・ 検証結果を踏まえた9月以降以降の対応については、現時点で未定である。

②広場バナーフラッグ

- ・ 荒天で外れや破断が見られたため、8月12日に撤去を完了した。

③ほこみちリリースについて

- ・ 当初8月26日リリース予定として幹事会メンバーへメール共有したが、大阪市と警察の協議未了により、8月27日リリース予定に変更となった。
- ・ 「なんば広場」という名称の扱いについて警察との調整が難航しており、協議に時間を要している。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

①パラソル社会実験

- ・ 閉じているの時間が多すぎる。パラソルはどの程度の頻度で閉じられているのか。(井原氏)
→大阪市に記録を依頼している。終了後に報告を依頼する。(岸本氏)
- ・ 今回の社会実験の結果も踏まえ、夏の暑さ対策は様々な方法を検討する必要がある。(寺田氏)

②広場バナーフラッグ

- ・ 素材の指定はあるのか。ターポリンを用いれば破断を防げるのではないか。(井原氏)
→ほこみち期間ではCyujoがバナーを制作するため、素材についてはCyujoに確認する。ただし、強度が高すぎると危険なため、適度な強度の素材を使用する予定である。(岸本氏)

2. 広場のイベント予定

状況	実施日	イベント名	主催
協議済	9/1(月)	大阪クラシック	大阪クラシック実行委員会
協議済	9/13(土)・14(日)	日中文化交流イベント	(一社) 中日文化芸術交流協会
未協議	10/4(土)・5(日)	ポーランドイベント	Adam Mickiewicz Institute
未協議	10/17(金)~19(日)	アルコール商品PR	ニッカウキスキー(株)
未協議	11/2(日)	NAMBA MASHUP	南海電気鉄道(株)
未協議	11/3(月)	だんじり展示&PR	地車 in 大阪城実行委員会

3. 今後の日程

- ・ 8/29(金) 幹事会の開催なし →共有事項あればメールにて配信
- ・ 9/1(月) ほこみち占有開始
- ・ 9/5(金) 13:00~15:00 幹事会
- ・ 9/19(金) 13:00~15:00 幹事会

以上